

令和6年

第11回岩沼市教育委員会（定例会）

会議録

1. 招集日時 令和6年11月7日（木）午前1時30分
2. 招集場所 岩沼市役所 議会棟2階 第3委員会室
3. 出席委員 及川浩市・南館公雄・山田芳弘・江里美穂子・木村紀子
4. 欠席委員 なし
5. 説明のために出席した者

教育次長兼市民図書館長事務取扱 大友 康弘

参事兼学校教育課長 一丸 孝博

生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長 渡辺 里美

学校教育課 副参事兼指導主事 小山 朋大
課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子

指導係長 千葉 雄太

主査 氏川 卓也

生涯学習課 課長補佐 佐賀 雄幸

主幹兼文化財係長 川又 隆央

生涯学習係長兼スポーツ振興係長 木幡 祐貴

市民会館・中央公民館

市民会館事務長兼中央公民館事務長 高橋 学

主幹兼社会教育係長 高橋 広志

市民図書館 管理監 栗野 和彦

主幹兼管理係長兼図書係長 相澤 秀樹

6. 傍聴者 4名
7. 本委員会の書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子
8. 開会 午後1時30分
9. 閉会 午後5時00分
10. 会議録署名委員 及川浩市・木村紀子

及川教育長

令和 6 年第 11 回岩沼市教育委員会定例会を開会いたします。

会に先立ちまして、本日、傍聴に 4 名の方においていただいております。傍聴の方につきましては、傍聴券に書かれたルールに沿ってよろしくお願いします。また、本日は令和 7 年度予算案の審議になりますが、落札価格に関わるような具体的な数字を出して議論することは避ける形をお願いします。

2 番目の会議録署名委員の指名ですが、今回は木村委員と私が担当させていただきます。

3 番目の事務報告を事務局からお願いします。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

令和 6 年 12 月議会の日程ですが、執行部側としては 12 月 10 日火曜日に開会される想定で準備を進めていく形になりました。現在のところ教育委員会からは、学校給食に納品していただいている米の価格が物価高騰により著しく上昇していることから、代金の一部を税金で補う形での補正予算を計上したいと考えているところでございます。

一丸参事兼学校教育課長

学校教育課から 6 点、報告いたします。

まず、教員の指導力向上のための取組についてです。仙台教育事務所の指導主事に授業や指導案の内容、校内研究等について指導をいただく機会として、各校年に一度、「指導主事学校訪問」が行われております。この期間内では 10 月 24 日に玉浦小で、10 月 30 日に岩沼西小で学校訪問が行われました。また、本市ではこれに加えて、校内研究充実支援事業として指導主事や 3 人の教育指導専門監が学校を訪問し先生達の支援を独自に行っています。10 月 28 日に南小で、11 月 1 日に西中で行われました。どの学校でも「自立した学習者」の育成を目指し、個別最適な学び、協働的な学びを取り入れながら授業改善に取り組んでいます。

10 月 26 日から 11 月 6 日、市民図書館で只野文哉記念小中学生科学技術作品展が行われました。計 59 作品の応募があり、その中から市長賞（小 1、中 1）、教育長賞（小 1、中 1）、子ども科学技術賞（小 3、中 3）、科学技術奨励賞（小 6、中 6）の作品計 22 点が展示されました。会場を訪れた方から多くの感想が寄せられておりまして、子ども達の励みとなるような賞賛や励ましの言葉がありましたので、今後各校に紹介する予定です。また、展示されなかった他の作品に対しても「岩沼科学の芽賞」として賞状を送付しております。

次に、リーディング DX スクール事業についてです。日本教育工学協会 JAET から学校情報化先進地域の認定を受けている本市には、県内外から多くの方が視察に訪れています。10 月 28 日には栗原市から、29 日には岐阜県から、31 日には岩手県から、教育関係者や議員の方が視察に来ており、本市の取組がたいへん注目されております。また、先日は岩沼小学校が JAET の先進校に認定されまして、先月 25 日に校長等が授賞式に参加し、11 月 1 日にその報告を受けております。授業におけるタブレット等 ICT 機器の活用や教職員の働き方改革を推進するための校務のデジタル化などの DX 化を今後も充実発展させていきたいと考えています。

次に、10 月 28 日の米飯学校給食支援方式における市町村説明会とありますが、内容としましては米の価格が上昇し、基準額を超えてしまったため、掛かり増し経費として市の予算から支出する必要が生じたというものです。学校が負担する米の価格の上限は 60kg 当たり 16,000 円が基準額で、これまでは 14,000 円だったので掛かり増し経費が発生しませんでした。が、価格が 21,420 円に

上がったため、市町村、県、JA が負担することとなりました。今年度は 11 月供給分から 3 月供給分まで 1,028,855 円を支出する見込みです。掛かり増し経費を負担することで、学校現場では一食あたり 10 円上がるところを 2 円の上昇に抑えられることになります。先ほど次長からの話にありましたとおり、12 月議会に補正予算として計上していきたいと考えています。

次に、10 月 30 日の事務指導についてです。先月 18 日に引き続き、この日は中学校が対象でした。仙台教育事務所からは、小中ともに概ね良好な結果であったと報告を受けております。

最後に南国市学校訪問です。10 月 29 日からの 3 日間、予定通り南国市訪問が行われました。引率した職員からは、参加した子ども達が終始元気で仲良くまとまりがあり、研修の一つ一つに自覚ある取組が見られたと報告を受けております。今後はそれぞれの学校で研修成果の発表が行われる予定です。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

生涯学習課から 2 点、御報告いたします。

1 点目、10 月 26 日土曜日に開催しました「2024 いわぬまスポーツフェスティバル」についてです。昨年度よりはじめた新たなスポーツ交流イベントとなります。今年は、スペシャルゲストにリオ五輪、バドミントン女子ダブルス金メダリストの高橋礼華さんをお迎えし、様々なスポーツを体験できるイベントで、当日は約 300 人の参加をいただきました。市体育協会やスポーツ推進委員、スポ少関係団体など多くの方々の協力、また参加賞・抽選会等で地元事業者の皆様の協賛をいただきました。子どもから高齢の方まで気軽にスポーツに親しみ、楽しめるイベントとなりました。また、午後からは、市内中学生対象にバドミントン教室を開催しました。約 50 名の生徒が参加し、デモンストレーションの試合では、オリンピックのスマッシュのスピードに驚きながら、直接御指導をいただき大変良い機会となりました。

2 点目、11 月 2 日土曜日開催、「岩沼市ジュニアリーダー協議会主催 きつずでいきゃんぷ」についてです。昨年度より日帰りの形で秋の開催とし、グリーンピアを会場に小学 5・6 年生対象で 16 名の参加となりました。里山の自然の中、様々なプログラムを通して交流予定でしたが、当日あいにく雨天となり、体育館での開催となりましたが、ジュニアリーダー達が工夫を凝らして交流を行いました。

及川教育長

ただいま次長、各課長から事務報告がございました。委員の皆様から内容等について御質問があればお願いいたします。

江里委員

10 月 27 日に美術の部活動支援事業があつて、内容は動画編集だったと思うのですが、参加人数は増えたのでしょうか。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

10 月 27 日の参加者は 5 名でした。前回と人数は変わらないのですが、新しく入ってくる人達もいたと聞いております。

江里委員

うちの子が参加しているのですが、デジタルアートのすごく楽しい内容で、ぜひ友達も誘いなさいと話しています。この日は日曜日で選挙の投票日だったので、大人は忙しくても子どもは逆に来るのかなと思いました。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

何回かありますので、ぜひお声掛けしていただけるとありがたいです。

及川教育長

生涯学習課の担当は、スポーツフェスティバル、選挙もあって、部活動支援事業の日程調整に苦心していたようです。水彩画や油絵といったものだけでなく、デジタルアートというのも面白いと思います。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

岩沼出身のデジタルアートができる講師の方をお願いしました。動画編集など、見ていてとても楽しく、大人が習っても面白い内容だと私は見受けられました。

江里委員

学校の授業でも多少は動画編集を習うんですけども、ここまでしっかりとした内容は授業でやっていないと思うので、皆さん受けに行けば良いのにとおもいます。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

亀塚温泉で撮影してきた画像を編集して、何分間にまとめるというのをしていました。アプリを使い、様々なテクニックを使うと上手くできるものだと私も勉強になりました。

江里委員

今後、中学生に岩沼市の観光アピール動画をまとめてもらっても良さそうな出来映えでしたね。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

子ども達はあっという間に操作を覚えるのでさくさくと進んでいました。大人ではなかなか進まないなと思っていました。

木村委員

一丸課長さんの報告によると、今月は沢山の視察がいらっしゃったようです。このことは親目線、市民目線からしたら進んでいる地域で良いなという評価にはなると思います。一方で、前任の教育委員さんが、先生方が大変だから視察日をまとめた方が良いとお話されていたとおり、保護者としても、お客さんが毎回来ると子ども達がふわふわした気持ちになって集中できないのではないかと思います。そのため、来年以降はある程度視察日程を指定していただいた方が、先生にとっても児童生徒にとっても、リズム的に学校の生活を普通に送れるんじゃないかなと思いました。

一丸参事兼学校教育課長

現在、視察を希望する方々からは、市の取組をホームページ等で御覧になって連絡をいただき、学校に伝えて日程調整をしています。実際、子どもの状況を聞きながら研究したいと思います。

山田委員

岩沼市の目玉になるものがあって視察が来ているということですね。その内容を教えてください。

一丸参事兼学校教育課長

現在、本市では文部科学省のリーディング DX 事業の指定を受け、校務及び授業の DX 先進地域に指定されています。先生方の働き方の様子や子ども達の学びの様子を見にいらっしゃっています。対象は小学校、中学校両方です。視察の際には、まずは校長や担当が出迎え、プレゼンをしながら説明をします。その後、校舎内を歩いてもらって授業の様子を見てもらっています。

山田委員

何の授業を見せているのですか。

一丸参事兼学校教育課長

視察されるときに実際に行われている授業を御覧いただいております。

及川教育長

基本的にタブレットは授業の固定をせずに使っていますので、視察の際に使っている授業については見ていただいています。主に小学校については授業を、北中については校務の方の DX を見ていただく事が多いです。

山田委員

デジタル教科書は使っているのですか。

一丸参事兼学校教育課長

使用しています。

山田委員

先進的に使用しているところを見せていることですね。その成果は上がっているのですか。

一丸参事兼学校教育課長

目に見える学力が上がっているかどうかということについては、要は ICT を活用するのはあくまで手段です。そのため、これを使うことによって学力向上に直結するというものではありません。

山田委員

一斉学習による学習方法に加え、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことを国でも非常に大事なことと示しています。DXを入れることで、拡大はするけれどもイコールではないですね。

一丸参事兼学校教育課長

それは効果的に進める手段です。

及川教育長

12月12日に、2年間のまとめの公開学習会を南小と岩小で行います。全国から100人前後の参加者を見込んでいます。後ほど、案内のチラシを委員の皆様にお渡しします。

山田委員

すごいですね。参加させていただいて、岩沼市の自慢にしたいと思います。

及川教育長

報告は終了させていただいて、4番目の議事に入ります。

議案第22号 令和7年度岩沼市教育費予算（案）についてお諮りします。

【大友康弘教育次長兼市民図書館長事務取扱、渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長、栗野和彦市民図書館管理監、相澤秀樹主幹兼管理係長兼図書係長 13時55分着席】

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

令和7年度予算は、「枠配分方式」と「一件査定方式」を併用した予算編成を行います。現在の状況として、枠内経費の一般財源について、教育委員会に与えられた配分額を1,000万近くオーバーしており、調整に努めております。また、市長部局から人件費は配分額からの超過を認める変更があり、また、先ほどの給食のお米の掛かり増し経費や様々な値上がりについての連絡が来ておりますので、それらを踏まえながら今日お示ししたものに加えて調整をしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

相澤主幹兼管理係長兼図書係長

(令和7年度市民図書館予算案について説明)

木村委員

以前お願いした部分なのですが、昨年度から市内の小中学校で二期制になって、秋休みができました。いろいろな御都合はあると思いますが、子ども達の秋休みの期間を開けていただけているのか確認と、そうでない時には来年度はぜひ開けてほしいなというお願いです。

相澤主幹兼管理係長兼図書係長

秋休み期間中について、スポーツの日の月曜日は開館し、代わりにその翌日の15日を休館日にし、16日は開館ということにしております。

木村委員

国全体のカレンダーとして祝日が移動したために月曜日の祝日が増えました。学校のシステムは祝日と合わせて連休になるような形で15日、16日が秋休みになっていますので、御配慮をいただきたいと思いました。親が働いていたり、小さいお子さんがいる家庭など、勉強したいけど家にも居られない子について、図書館に行きたかったけれど行けなかったという声を去年は聞いていました。今年はこちらの子は塾に駆け込めたのですが、「交流プラザで勉強するしかなかった。あそこはwi-fiも入っているので、本気で勉強する場所じゃない。図書館が秋休みに合わせて開いてるといいな。」という声を聞きました。開館日を移動すると働く人のシフトの関係はあると思うんですけど、来年度が始まる前に勤務時間の調整を可能な範囲でやっていただきたいと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

予算や職員配置の問題がありますので、可能な範囲で対応を考えたいと思います。

木村委員

市内の休みに合わせて開館していただけたらと思います。しかも秋休みは年1回しかないので、15日も開館になれば、他の市町から見ても良いなと思われることだと思います。

山田委員

市民図書館の司書と学校図書館司書の人事交流みたいなことはしているのですか。市民図書館の司書が学校図書館の司書になったりということはあるですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

正規職員の人事配置は市長部局が中心になり行いますが、お互い行き来し、打ち合わせを行っています。

山田委員

市民図書館も学校の実情をある程度把握することができますね。

岩沼市は学校図書館に司書を置くことを先駆けて行っていました。他の市町村に学校図書館司書はいなくて、多くの学校は先生が司書業務をやっています。岩沼は本当に昔から手厚く、会計年度任用職員の方でも同じような仕事をされていると思うので、とてもありがたいと思います。

それから、学校で調べ学習をしていますよね。学校図書館で分からない事を市民図書館に来て調べる、それでも分からない時は県立図書館も紹介してくれるんですよ。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

図書館自体が仙台管内の相互利用を行っていて、無い本は持っている図書館から取り寄せる事ができます。

山田委員

今、学校図書館の司書は全て会計年度任用職員なのですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

学校図書館司書の大部分は会計年度任用職員で1名だけ正規職員です。なかなか司書資格をお持ちの方からの御応募がなくて欠員だった時期もありましたが、今は充足しています。

山田委員

ありがたいですね。学校の長期休業中も配置しているのですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

はい。夏休み期間の貸出や本の整理を行っています。

山田委員

とても良いことです。広く紹介したいと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

現在、中学校は1名が2校を兼務する形をとっています。

山田委員

私も中学校の利用は少ないと感じています。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

子ども読書計画を作ったときのアンケートによると、小学生の利用は多いのですが、中学生は週に1度の利用もしていないという子が大半でした。

及川教育長

秋休みに開けられるかどうかというのは予算やシフトの関係がありますね。

栗野市民図書館管理監

イレギュラーな日を作ってしまうと利用者が混乱します。毎週月曜日休みで、その日が休日の時は次の日が休み、それから月1回館内整理日があるということが原則です。ですから、開館日・休館日を変える週について定着すればいいんですけども、定着するまでにはだいぶかかると思います。逆に利用者の方からは、やってたと思ったら休みだったということになります。御連絡をいただくことが多々あるので、その辺はだいぶ早くから周知していく必要はあると思います。

及川教育長

小中学生だけのための図書館ではないところもありますし、バランスをとって全体的に考えるということをお願いします。

山田委員

高齢者の利用が多いようですね。

栗野市民図書館管理監

コロナ開けに自習室の開放をしたら、中学生にも多く来ていただけるようになりました。

木村委員

ぜひ秋休みは、子どもファーストをお願いします。

江里委員

その件に関しては、図書館利用者の方の声も聞いてだと思いますが、セミナールームの自習スペースの開放は、図書館の開館日だけなのでしょうか。

栗野市民図書館管理監

休館日は閉まっている状態です。

江里委員

秋休み中に、せめてそこだけを子ども向けに解放していただくのはどうでしょうか。図書館は閉まっているので一般利用の方にも分かりやすいと思います。今は連動して、図書館が開いている日だけ、こちらも開放していますという形で示されていたと思います。

栗野市民図書館管理監

実状、自習室の利用は、小中学生より一般の方が多いです。解放してしまうと、おそらく一般の方も来てしまうので、小中学生だけというのは難しいのではないかと感じていますが、検討したいと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

今の職員体制では、扶養の範囲内で勤務している職員もいるので難しい面があります。人の手当を見ながら検討します。

山田委員

学校は休みなので、学校図書館司書が応援に来る形はできるのではないのでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

最初の職員募集の条件から外れますので難しいと思われます。

山田委員

業務内容を変えれば良いのではないのでしょうか。お金がない中、そのような手もあります。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

技術的にはできないことではないと思いますが、現状、多様な働き方を好まない方が多いと感じており、人が集まりにくくなる恐れがあります。そのようなことも含めて考えていきたいと思っています。

及川教育長

人と予算のバランスを考えながら検討できるところを検討してください。

南館職務代理者

最近の闇バイトに関する傷害事件に心を痛めています。子ども達の幸せには決して結びつかないことで、その場の金欲しさについ乗ってしまっている。

子ども達の幸せは、健康であること、愛のある家庭であること、食べるのに困らない収入があることが最低限必要ではないかと考えております。

子ども達はやっちゃいけないことでも、その場で脅されて、または収入を得るために、平気でやっちゃうんですね。やっちゃいけないことを教える場をもっと作らなければいけないのではないかと思います。

昔は怖い先生が1学年1人ぐらいいいて、殴ってでも絶対やってはいけないことを教えることがありましたが、今、同じやり方をしたら問題になる行動もあったと思います。では、どうしたら私達は子ども達に教えられるか。一番手軽で効果がありそうなのは、愛のある本を読ませることだと思います。読んでいると涙が出てきそうな本をコツコツと読むことを、小学校低学年の方が入りが良いと思いますし、中学生は思春期で難しいということもありますが、一斉にスタートできれば良いなと思います。できれば図書館で何かテーマを決めて、アピールして子ども達を誘い、感動の涙を流すような子は最初少ないかもしれないけど、一人でも二人でもいれば、それが大変な効果だ

と思います。それを狙ってやってほしいと思います。

それから、学校でも先生方がまずそれをしっかり理解して、授業の中で 10 分間だけでも積み重ねていくことで、子ども達の心を変えて、皆、幸せになってほしいと思います。

そういった方策を考えてみてほしいと思います。

山田委員

図書館では読み聞かせの事業をやっているんですね。学校でもやっているのでしょうか。朝読もやっていますか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

ボランティアの方をお願いしてやっている学校もあります。朝読をやっている学校もあります。

山田委員

少しずつは入っているようではすけれども、それだけではなかなか進まないようです。

それから、世の中で求められることが変わってきました。例えば、高校の国語の教科書が、今までは説明文と文学作品だったのに、論理国語や国語表現が加わって、少しずつ内容が変わってきているものがあります。

及川教育長

司書の先生だけでなく会計年度任用職員であっても、読書活動に携わっている方々は心の教育に取り組んでいます。節分の時期にはこんな本があるよ、クリスマスの時にはこんな本があるよ、という様に環境を整えることも司書が行う大切な情操教育の役割だと思います。岩沼の司書には、大事な役目を担ってくれていると感じています。司書がいなければ、教員が、授業が終わった後に本の受け入れをすることになり、例えばゴールデンウィーク頃に受け入れをしたのに、子ども達に貸し出しできるのが、夏休みになってしまいます。司書がいることで子ども達の手元に早く本が届きます。今後もこの職員体制を継続していきたいと思います。

山田委員

かつて、私は名取市の図書館新設に少し携わったんですけども、問題になっていたのが単独図書館にするか複合図書館にするかということでした。岩沼で複合図書館にはできないと思われませんが、コーナー辺りに人の来そうな事を何かできないものかと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

岩沼市でも図書館を作る前に、多賀城市のような複合図書館にするか検討したと聞いています。検討の結果、入口近くにエントランスがあって自動販売機の設置スペースもある、今の形が落としどころになったということです。

山田委員

図書だけではなく、気軽に入りやすいスペース作りが大事じゃないかと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

気軽に利用できるスペースとして活用されていると思われまふ。先日の来館者 200 万人達成のセレモニーもこちらで行いました。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

図書館 2 階には「ふるさと展示室」もあり、生涯学習課の施設も入っています。

相澤主幹兼管理係長兼図書係長

ギャラリー展示も行っていて、展示をしたい方が展示をし、鑑賞したい方が自由に鑑賞できるよ

うになっております。

栗野市民図書館管理監

志賀一男先生の絵画展を本日からやっています。

及川教育長

11月4日に入館者200万人達成記念セレモニーを行いました。200万人目になった岩小2年生の女の子は年間300冊も読んでいて、図書館に来るようになってから通算2,000冊読んだとのことでした。そういった芽が子ども達にも育ってきてますし、そういった子ども達が将来の岩沼市民として図書館を活用してくれるものだと思います。そのような大事な役割も図書館にはあるということです。予算を計画的に有効に使い、充実した図書館運営に繋がっていけば良いと思います。市民図書館分につきましては以上といたします。

(14時28分終了)

【大友康弘教育次長兼市民図書館長事務取扱、渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長、高橋学市民会館事務長兼中央公民館事務長、高橋広志主幹兼社会教育係長 14時30分着席】

高橋市民会館事務長兼中央公民館事務長

(令和7年度予算編成市民会館及び中央公民館方針及び予算について説明)

及川教育長

清掃等の委託料をかなり調整したのですね。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

シルバー人材センターで長時間働く方が集められないということを知っていましたし、清掃箇所の精査を行うことで調整しました。

木村委員

中央公民館一般管理に要する経費について、セコムAEDパッケージサービスの契約期間終了による減とありますが、AEDを更新しないということなのでしょうか。

高橋市民会館事務長兼中央公民館事務長

現在、市民会館・中央公民館の建物内にAEDが2台あります。今回契約期間終了になるAEDは、旧青少年ホームを閉鎖するときに移動させたもので、1台はあることから、契約満了で配置を止めることにしたいと思います。

山田委員

AEDの講習は行っているのですか。

高橋市民会館事務長兼中央公民館事務長

職員研修として行っています。

及川教育長

その他、御意見がないようでしたら、市民会館・中央公民館分については以上といたします。

(14時42分終了)

(休憩)

【大友康弘教育次長兼市民図書館長事務取扱、渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長、佐賀雄幸課長補佐、川又隆央主幹兼文化財係長、木幡祐貴生涯学習係長兼スポーツ振興係長 14

時 50 分着席】

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

(令和 7 年度予算編成生涯学習課方針及び予算について説明)

江里委員

部活動の地域移行に関する事務委託料の中に、コーチバンク整備として 80 万円と書かれています。2 年程前に市 P 連で、部活動の地域移行を始めるにあたって、どのような事が心配されるか、どういう風に活動していくのか、話を聞く行事が行われました。その時に皆さんが心配していたのが、どんな方がコーチに来るのか、学校内の部活動でも起こるような、ちょっとしたいじめや子ども同士のトラブルがあった時、学校から離れたところで起こった場合にちゃんと対処できるのか、起こった問題が学校の先生や顧問の先生と共有できるのかという心配事がありました。今、どれぐらいの方がコーチバンクに登録されているのでしょうか。

佐賀課長補佐

現在、コーチバンクには 15 名の登録をいただいております、その全ての方々が休日のスポーツ教室で指導に当たっています。それ以外の地域クラブ等からのコーチバンクへの指導者の依頼はございませんので、休日スポーツ教室のみの指導者として、フクシ・エンタープライズで契約しています。登録している方の内訳は、市の体育協会の団体種目に所属している方、岩沼市内在住でバドミントンや卓球等をやっている方でフクシ・エンタープライズの方で面接をする中で契約をしていただいた方、それとフクシ・エンタープライズの職員、そこで契約している指導者といった方々です。そこから派遣していただいております。

江里委員

予算書には、講師派遣に各競技 4,500 円の単価、3 名で 40 回と書かれていますが、これは一つの競技について 3 名の予算を取っているという解釈でよろしいのでしょうか。

佐賀課長補佐

参加人数が沢山いる競技には複数の指導者が必要になります。一人体制だと難しいと話す指導者の方もいますので、なるべく複数体制で行う種目がほとんどです。そのような内容の予算計上です。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

卓球やバドミントンは人気があつて講師は沢山いますが、今年 10 月から始めた、バスケットボールや野球はまだ少ない状態です。

佐賀課長補佐

指導者は 2 人以上の体制で行っています。

江里委員

コーチバンク整備と合わせて、相談窓口業務についても書かれていますが、部活動の地域移行が始まってから相談件数は何件くらいありましたか。

佐賀課長補佐

ほとんどありません。相談と言っても、スポーツ少年団の立ち上げ方に関する相談で、それ以外の相談については無いところです。小さな相談事は総合体育館で対応していると思われていますが、件数に数えるような大きな内容の報告は来ておりません。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

最初の頃は問い合わせもかなりありましたが、1 年を経過し、特に無い様子です。

佐賀課長補佐

始めたばかりの頃は、どういう風な内容でやるのかとか、登録はどうやったらいいのかとか、最初によくあるような相談がありました。こちらとしては、自分たちで団体を立ち上げる時にはどうしたら良いのかとか、指導者がいないけれどどうしたら良いかといった相談も想定し、相談窓口として委託しているのですが、実際は先ほどお話したような相談内容がほとんどでした。

木村委員

スポーツ関係の件で、コーチという立場で知り得る情報や裏事情を知った上で運用している方が悪用するようなことがあった場合には、この登録は1回で除名するとか、反則に関するルールを定めて、人手が足りない面もあるとは思いますが、悪用されては困るので、その辺は徹底していただきたいと思いました。

原遺跡ですが、私は教育委員になって初めて分かりました。そして、思ったよりも予算額が多いなと思いました。工事をするとか適切な処置を丁寧に扱うといった様々な内容があると思われますが、こんなに予算が必要なのかということが分かってなくて、実は、他の保護者の方からも分からなかったという話も聞きました。もっと違うところとか、保護者なので直接子どもに関わる事を、と考えてしまいます。生涯教育は絶対必要だとは思いますが、予算が圧縮されている中、先ほどの図書館の開館日の職員配置が大変だとの話もあったところに、ここの額はとても大きいなと思います。出所は税金だから皆さんのお金なので、必要性などを御説明いただきたいと思います。

川又主幹兼文化財係長

原遺跡に関しましては、2016年から発掘している遺跡です。奈良時代、平安時代に日本国内を様々な幹線道路が通っていたのですが、その中の東山道という道が奈良の都から多賀城に続いています。原遺跡は、その道沿いに作られた交通の拠点施設のの一つであらうと考えられています。古代の交通に関する遺跡は、国内では発見事例がほとんどないものです。千年前に書かれた延喜式という書物には、402箇所の地名が載っていますが、現在確認されている遺跡は全国に2跡しかありません。原遺跡は、玉前駅家と呼ばれる地域に該当しますので、関連する遺跡である可能性が高いとして関心が高まっています。岩沼市には、県史跡はありますが、国史跡はありません。文化庁からも希少価値の高い遺跡であるという評価をいただいていることから、国史跡になるためにも、裏付けデータを蓄積するため、年次計画を立てて調査を行っています。調査費の半分は国の補助を受けて行っています。

木村委員

それほど重要だということですね。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

文化庁からも見込みがあるという判断を受けています。

常磐線を挟んで左右にあって、住居の下という箇所もありますし、田畑の箇所はお休みいただいて発掘作業をすることから、なかなか進まないのですが、毎年少しずつ成果をあげるような形で頑張っているところです。

木村委員

頑張ってください。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

何度か広報で紹介しておりますし、図書館2階のふるさと展示室で展示しています。

現地で発掘している最中に見に行くことが難しい場所ではあります。

川又主幹兼文化財係長

大きな成果があったところは、現地説明会を3度ほど行っています。今年度につきましては、まだ調査中でありまして、現地公開につきましてはこれから調整していきたいと思います。

江里委員

せっかくなので、子ども達にも見学する機会があるととても勉強にもなりますし、そんな歴史的にすごいものが岩沼市にあるんだっていうのを子ども達にアピールする機会を作っていただけると良いと思います。

川又主幹兼文化財係長

今年は多賀城創建1,300年ということで盛り上がっていますが、多賀城ができる前から原遺跡があるということでも貴重なものです。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

柱や道路がとても大きく、幅が広いので、端が分からずにどこからどこまでが遺跡になるのかが分からずにいます。

及川教育長

文化庁の方がおいでになるのは間もなくでしたか。

川又主幹兼文化財係長

1月においでになる予定です。検討委員会は11月に行います。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

県教育委員会など様々な方の御指導を受けながら進めております。

川又主幹兼文化財係長

昔の役所というのは四角で囲まれる空間の中に建物が配置される形になっており、これまでの調査で角は見つっていますが、反対側の角が見つからないと東西の幅が分かりません。昔の建物というのは東西の幅の中心の所を対象として建物を配置する作りとなっておりますので、文化庁の方からもこちらの端を見つけることを求められています。それが分からないと史跡指定の範囲が決まらないということもあり、現在、この東側端を見つける調査を継続して行っています。中に建てられている建物につきましても、これまでの調査で数棟発見されております。その時代の庶民は、地面に穴を掘る縦穴住居に住んでいるのが普通なのですが、役所的な施設の場合は地面に大きな柱を建てて作る建物でありまして、そのような建物跡が遺跡の中で見つかっています。ぜひ東側を見つけて登録していきたいと思います。

及川教育長

すぐ近くに阿武隈川が流れているので、氾濫等もあって確定は難しいところもあるんですね。

川又主幹兼文化財係長

本当は正方形に囲まれる施設なんですけど、南側につきましては、おそらく鎌倉時代、室町時代の洪水によって大きく削られていることが分かりました。そういったところも調査していく中で明らかになっており、昔の環境も分かるようになります。先ほど駅家の話をしましたが、こちらには関所もあるという、全国的にもここだけにしかない面があります。阿武隈川は1300年ほど前に陸奥国から別れ、亘理の方が石城国になり、ちょうど玉前の辺りが国境地帯になります。重要な場所になりますので、そこに関所が作られました。陸奥国と石城国は4年程でくっついてしまうんですが、

関所の機能はその後 200 年程存続していることが多賀城の調査で分かっています。駅家だけでなく関所もあるということで、非常に珍しく、注目されている所であります。

山田委員

部活動に支援が入っていることは聞いたことがなく、岩沼は素晴らしい事業をやっているなと思いました。中学校の先生は土日のどちらかを部活の指導に出ていて、お金はいただくんですがほんの少力で、せつかくの休みが休めません。平日も遅くまで指導し、子ども達の下校時の心配もあります。中学校の部活は本当に大変な仕事だと思ったんですけども、岩沼では休日のスポーツ教室をやっけただいております。今、平日の方にも進みつつあるのでしょうか。

佐賀課長補佐

岩沼市が最初に手をつけたのは平日の部活の支援事業です。その後国の方針が出る以前から、休日のスポーツ教室、部活動の地域移行を進めてまいりました。来年で計画は一応完了します。その後は国の方針でも部活動の地域展開という形の名称になると思われますが、令和 8 年度からは平日も地域展開を目指す指針が出ております。岩沼市はもうその前からの平日の支援も行っており、今後検討する課題にはなってくると思いますが、現在進めているような形を今後も継続していきます。日本全体としても平日の部活動の地域展開は進んでいくと思われます。

山田委員

国で呼びかけても実際に動けない市町村が多くあります。岩沼は先駆的に行っているので、ぜひ平日の方も話しされたような形でやっけただけたらと思います。

及川教育長

先日の読売新聞に、2025 年辺りから平日の部活動についても地域の人たちの力を入れる方向で、という記事がありました。教育長会などで集まっても、全ての町がそのような方向で動ける訳ではないと話題になります。岩沼は 4 つの中学校が中心部に集まる時に自転車を使えば 15 分程度で集まれるという利点がありますが、それがもっと広い市町では施設も必要ですし、コーチも何カ所にも派遣しなくてはならないような事情もあるので、同じようなペースで進めることは難しいと思われます。2025 年からの平日の部活動をどの様に展開していくのか、これから詳細が明らかになるところだと思いますが、いずれそちらの方に対応するか、教職員に残業手当のようなものが出るようになるのか、どちらになるのかまだ分からないところです。

山田委員

中学校の先生方は、授業が終わるとすぐ部活の指導をし、それが終わって会議や自分の仕事をし、ていて、本当に大変な苦勞をされていると感じます。岩沼でこのようにやっけただけると、先生方は喜んでいてと思いますし、岩沼勤務を希望する方が多くなるのではないかと思います。

及川教育長

保護者の方々に御理解いただき、ここまで進んできました。これからもしっかり説明しながら移行していければと思います。

その他、御意見がないようでしたら、生涯学習課分については以上といたします。

(15 時 23 分終了)

【大友康弘教育次長兼市民図書館長事務取扱、一丸孝博参事兼学校教育課長、小山朋大副参事兼指導主事、山下真理子課長補佐兼教育総務係長、千葉雄太指導係長、氏川卓也主査 15 時 30 分着席】

一丸参事兼学校教育課長

(令和7年度予算編成学校教育課方針について説明)

山下学校教育課長補佐兼教育総務係長

(令和7年度予算について説明)

山田委員

エレベーターの修繕設計の話がありましたが、肢体不自由者用のものでしょうか。

山下学校教育課長補佐兼教育総務係長

人も運びますし、給食を2階や3階に運ぶのに使っているエレベーターです。

江里委員

令和7年度からコミュニティ・スクール委員会を始動するとのことですが、それはどういったものですか。

一丸参事兼学校教育課長

今までは学校評議員さんに学校の教育活動の評価を行っていただいております。これからは、学校運営協議会として、地域の方々に学校経営に携わっていただく形を作ろうとしています。岩沼市には、まだ協議会を立ち上げているところが無いことから、来年度、まずは玉浦小・中学校から進めようと考えています。

小山副参事兼指導主事

学校運営協議会は、委員さんが学校運営に参画するということで、発言権も強くなると同時に責任も伴うことから、より親身になって携わっていただけるようになります。

江里委員

予算には委員さん10名の経費が書かれていました。今まで学校評議員は、地域の病院の先生など、4、5名程だったと思いますが、その方達に地域の方が加わる形なのでしょうか。

一丸参事兼学校教育課長

学校運営協議会の委員さんには、これまで学校評議員を務めた方をお願いする場合もあれば、今までと全く違う方をお願いする場合もあり、学校によって違ってきます。

山田委員

学校側からすると学校の教育活動にいろいろと事細かく言われるので大変な面もあると思いますが、地域の方が学校運営について直接要望を言えるようになります。やり方が上手くいったならば、地域で学校を作っていく、とても良い形になります。

一丸参事兼学校教育課長

例えば、学校の課題解決に学校の人材だけでは悩むような時に、地域の方々がやってくれて上手くいく可能性もあります。

江里委員

地域と連携が深まるというのは、とても良い流れだと思います。私はPTAの役員でして、今年度、青森であった日本PTAの大会や、PTA指導者中央研修会でも、地域との繋がりを深めていかないといけないという話をお聞きしました。学校の先生だけでは難しい面があって、特に先生たちの人数がなかなか増えずにマンパワーがどうしても足りない中なので、地域の方にどんどん学校に入ってきてもらって、いろいろ支援してもらおうのがいいんじゃないかということで、どこかの町の成功事例のお話も聞いてきました。本当に良い流れだと思いますので、ぜひ上手く行ってほしいと

思います。

小山副参事兼指導主事

学校評議員会は、小学校、中学校それぞれの評議員会でしたが、コミュニティ・スクール委員会
は、小中合同で一つのものを作り、2校で10名の委員で組織することを考えています。お二人の
校長先生方も参画し、進めていきたいと思います。

山田委員

小中一緒というのは良いですね。

木村委員

各学校に校長先生が使える予算があるという事を聞いたことがあるのですが、それはお話にあっ
た「子どもの未来を広げる学校づくり推進事業」の中にあるものですか。

一丸参事兼学校教育課長

特色のある学校づくりのため、講師を招く費用や総合の授業で使用する物の購入費などに充てる
ため、児童生徒数で上下しますが、各学校100万円程度、助成するための予算がありました。

木村委員

それは有効活用されていたものなのでしょうか。

小山副参事兼指導主事

学校がこの助成金を活用した事例を紹介させていただきます。震災を経験していない世代が増え
ていることから、震災遺構の荒浜小学校を見学させたいとして貸し切りバス代に充てたり、体力向
上のために縄跳びの講師を招いて指導していただいたり、子ども達の意見を全校にアウトプット
するためにプロジェクターを体育館に整備したり、各学校が考えた特色ある使い方をしています。

木村委員

トラブルがあった場合にカメラで追えれば、といった話をした時に予算の話にもなって、その時
に他の人から学校の予算について話を聞いて、そういうものを活用できているのかなと思いました。
校長先生次第なんではしょうけども、その予算を使った効果があるかどうか分かってないんですよ。
分かってないものに来年度も出せるのかという話が出ていました。

その報告を保護者として聞いたことがないし、でもお金は出していたと聞いて、今はブラックボ
ックスみたいになっているけれども、恩恵を受けているのか受けていないのかなど公表してほしい
という気持ちはありました。

及川教育長

かつて総合特色費と言っていたのですが、総合の授業をやるときに、例えば地域の農家さんに行
くとか自動車工場に見学に行くとか、先ほど話のあった震災遺構の見学に行くという費用や、授業
の中で使うものを購入したり、講師の先生をお招きするために使うことから始まったものなので、
のべつまくなしに何でも使えるというものではありません。当時は総合的な学習の時間の中で学校
の特色を活かせるもの、ということで使ってきたお金です。その根っこは名称が変わった今も繋が
っています。子ども達の教育活動のため、教育目標を実現するために必要なものに使えるお金であ
って、各学校の特色に応じて使われ方は様々であると見ています。

木村委員

北中に通ううちの子が授業で和菓子をいただきました。先生がおっしゃるには、計画書を出して
お願いしてもらえたお金で食べさせてくれたんだよ、とのことでした。学級費で払った記憶がなかつ

たので、何の予算から出ていたのかなと思っていました。

及川教育長

多分、この助成金を使ったのだと思います。授業でこのようなことをやりたいという計画書が上がられて、お茶の後に出すお菓子のお金を出したのだと思います。

木村委員

たまたまうちの子から話を聞いたのと、今こうやってお話を伺って分かりましたが、やはりお金を出している市民の皆さんからしたら、こういうのをやってあげたのね、と知る機会がないので、学校ごとの報告があってもいいかなと思いました。

及川教育長

おそらく学校だより等でこういう会をやりましたということは出ているのですが、お金の出所までは言えていないと思います。どのようにしていくかは難しいところがあるかもしれませんが。

木村委員

いくら使ったまでは出さなくても、総合特色費から出したという事業の一覧があると良いと思います。100万円は大きいお金なので、プリント1枚分の学校からの報告があつてよいレベルの事だと思います。しかもICTも充実しているので、それを使って「岩沼はこんなにいいですよ。」ということも伝えるよう、義務とアピールを兼ねて公表した方が良いと思います。そうじゃないと、「ブラックボックスで好きに使っているようだ。」と聞いて、私は何だと思いました。報告がないとそうになってしまいますよね。公平性から言ってもオープンにした方が良いような気がします。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

いろいろな観点がございまして、今まで助成金として学校の通帳に入金し、そこから使うやり方を平成13年から学校の裁量権拡大の方針で行ってきましたが、市民目線や評価の観点が薄くなる面があることから、今回、一般会計の中に入れ、議会に提出する「岩沼市教育委員会点検・評価報告書」に学校の活動の中身を記載して報告していくことを考えております。これからは公会計の中で経理をしていくということで透明性を高めつつ、裁量権の拡大を維持するようやり方を変えていきたいと思います。

木村委員

ぜひオープンに報告書を出していただきたいと思います。

及川教育長

学校では、このような事業をやりましたということを伝えていくことが、市民へのアピールに繋がると考えられます。

山田委員

いろいろとお話しさせていただきます。

最初に学力向上推進事業ですけれども、私も個人的に提案したいと思います。学び塾を拡大することで、地域人材と大学生を活用すると書かれていました。先ほど課長さんから指導助手も使っていると話があったとおり、私も指導助手を使ってほしいと思っていたので良かったなと思いました。子どもを知っている方に教えていただくのは最高なので、特に小学校だと1、2年生辺りに指導助手の方を当てていただければ非常にありがたいと思います。

それから、学びの多様化にかかる運営事業について。岩沼市だけでなく、県でも全国でも不登校がすごく多くなっています。中学校の別室登校は、昔は空き時間の先生が対応していましたが、今、

常勤の先生が2名配置されているそうなので、とても助かっていることだと思います。私が大河原中学校にいたときは、数学の先生が入っていました。できれば、身近な教科の先生が入っていれば生徒は来やすいのではないかと思います。別室登校にも行けない子どもにはケアハウスがありますが、ケアハウスにも行けない子どもはどうすれば良いか。家庭にいて3年間教育を受けないままに卒業する、それで良いのかという話になります。子どもには教育を受ける権利があるし、親には憲法に書かれているとおり教育を受けさせる義務があります。自分勝手に受けないんだからとするのか、少しでも教育を受けさせなくちゃいけないんじゃないか、ということがあります。名取市では県から配置された訪問指導を数年間やっていました。不登校で長い期間学ぶ機会が無いような子どもがあつてはいけないと思います。訪問指導というのは、週2、3回来る家庭教師だと思ってください。そういう学びの機会があれば本当に良いなと思います。それから、けやき教室の負担金の話がありましたが、ケアハウスとダブっちゃうんですね。けやき教室のある白石中学校に、岩沼からわざわざ行く人はいないんじゃないかと思います。徐々にいらない方向に進めてほしいし、負担金も無くてもいいんじゃないかと思います。素晴らしいケアハウスが既にあるので、けやき教室は必要無いような形にしていっていただければと思います。

それから、スクールバスは市バスを使っているのですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

今年から別に発注をして運行しています。

山田委員

今年からきちんとした形なのですね。市バスを使っていると停車してから学校までの通学が危ないので、ありがたいことだと思います。

学力向上の着実な推進ということで、個別最適な学びと協働的な学びについて書かれており、国、県も同様に記載しています。この評価はしてあるのだろうかと感じます。先ほど話が合ったDXは、あくまでも一部なんでね。4月に全国学力・学習状況調査がありました。あの中に質問項目がありますので、そちらを使っていただければと思います。例えば、こういう質問になっています。個別最適な学びについては、授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。それから協働的な学びについては、授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。来年、データを比べて良くなったのか見ていただきたいと思います。

小中学校学習支援事業で学校指導助手と特別支援教育支援員を配置しています。説明には「小・中学校の特別支援学級に」と書かれていて、固定化しているということですね。学校の実情は、特別支援学級は情緒障害の子の対応は大変だと思いますが、通常学級に発達障害のある子どもが6%から7%いて、通常学級で離席したりしゃべったりしていて、そちらの方に特別支援教育支援員を使っていいうように、固定化しないで学校が必要とする学級に配置してもらう形の方が良いんじゃないかなと思います。

ALTについて、市町村によっては男性のみの所があるんですね。岩沼は女性の方がいました。有色人種の方はいるのでしょうか。できればいてほしいと思います。

一丸参事兼学校教育課長

おります。

山田委員

多様化の時代なので、できればそういう方にも子ども達に接していただければと思います。

それから、ALT が病休を取れるか取れないかということが、よく問題になります。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

ALT は市で直接雇用しているのではなく、業者さんに派遣を委託しています。

山田委員

それなら大丈夫ですね。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

病休の時は代替の方を派遣してもらうか、学校で何とか対応しています。

山田委員

就学援助費について、医療費はかからないようになっているのでしょうか。健康診断で虫歯や中耳炎など指摘があれば治療しなければなりません。

山下学校教育課長補佐兼教育総務係長

要保護の人は就学援助費からですが、他の人は市の子ども医療費で治療できるので、保護者の手出しはほとんどありません。

山田委員

スポーツ振興センターには、全員掛金を払っていますけどその関わりはどうなっていますか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

子ども医療費で治療費を支払えますが、大きな事故があったとき等にスポーツ振興センターから支払を受けることができます。

山田委員

通院で子ども医療費が使えるのはありがたいですね。亡くなった場合などには支払があるんですよね。入っているとやはり良いですね。

通信費まで出していただいてありがたいと思いますが、就学援助を受けているのは、ひとり親の家庭が多いのでしょうか。こちらで対象としているのは、準要保護だけですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

ひとり親世帯には限りません。要保護、準要保護の双方を対象に就学支援金を出しています。生活保護は、基本的に他のセーフティネットがなく、最終の砦としての考え方でいます。

山田委員

特別支援教育支援奨励費は特別支援学級に在籍する児童生徒を対象としていますけれど、小学校が 80 名在籍していて認定されているのは 53 名です。中学校で 39 名在籍中 22 名が認定されています。恥ずかしいとか、申請しない人には何か理由があるのかどうか分かりませんが、ぜひ認定していただいて給食費等支給される形になった方が良いのではないかと思います。私も勧めた事があるのですが、やはり知らない、恥ずかしいという感じだったので、公的に出るのであれば、ぜひ声掛けしていただきたいと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

声掛けは積極的に学校現場を通じて行っていて、例えば給食費の全体で 1 割程度は就学支援金から充てられています。一定の周知は進んでいると思われますが、転出入等ありますので、その都度お話をしております。

江里委員

課方針書の小中学校学習支援事業に、今年度の実績として「指導助手 19 名特別支援教育支援員 13 名配置」と書かれています。予算書を見ると同じ人数で組まれていたのですが、来年度も人数は同じということですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

その様に考えています。ただ、単価が上がることから予算は大幅に増えております。

江里委員

人の配置も一緒のままでしょうか。

及川教育長

毎年、学校の希望を聞いて配置を決めています。予算もあるので希望通りにいかないこともあります。

江里委員

うちの子が支援学級在籍なんです。特別支援教育の支援員さんが足りないという状況です。小学校は仕方ないと思うんです。知的障害の子については、保護者が学校を選べるようになったので、それはそれで良いことだと思うんですけども、生活習慣のサポートに手がかかる低学年の子がだんだん増えてきたということもあって、どうしてもそちらに支援員さんが取られてしまいます。情緒障害の子だと、今、学習障害を抱えた子も最初から支援学級在籍を選ばれる方がいるんですけど、そうすると学力は学年相応にあるので、授業は普通学級で受けるという選択をする子が今多いんですけども、小学生だと誰か大人がついてこない、授業中、どうしても耐えられなくなって教室を出ちゃうとか、もしくはしゃべり始めて、授業の邪魔をしてしまうことがあります。小学校の場合は、支援学級の担任の先生がつけるとときにはついていきますし、つけない時は支援員さんがつく、ただ、絶対的に人が足りないっていうのは常々お聞きしていました。うちの子は中学生になったのですが、中学校だと支援員さんの数が圧倒的に減っていて、情緒学級の子だと「一人で授業を受けに行きなさい」と完全に放置されてしまいます。それで大丈夫な子は大丈夫で、「しんどくなったらちょっと抜けて休憩してもいいよ」と言われたら自分で抜けて休憩できる子もいます。小学校で不登校になった子が「学力には問題がないから、情緒学級だったら通えるんじゃないか」と勧められて、情緒学級に在籍を変えてくる子がいるんですけど、そういった子が中学校にいざ入った時には、「君は中学校の勉強をちゃんとできるから、授業は普通学級に行こうか」ということになります。そこで放置された場合、小学校の普通学級で不登校になった子が、中学校で情緒の支援学級に在籍し、「一人で行きなさい」と普通学級に混ぜられる、するとその子は不登校になってしまうのが目に見えているんですね。そこに大人が一人ついていけることが理想なんですけれども、支援員さんの応募も少ないというのを聞いてはいるので、ある程度仕方ないとは思いますが、もう少し人が増えれば、もしくは地域の力を借りるということではできないかと思います。小学校では、例えばトイレに連れて行く補助とかだったら、手の空いた保護者や地域の人でもできますし、そういった補助や介助の役割を地域や保護者にボランティアでお願いする形にできないものかと思います。全部を先生にお願いすることは圧倒的に無理だと思っています。

特別支援教育支援員さんの任期はあるのでしょうか。小学校 6 年間在籍している間にすごく良くしていただいた先生がいらっしゃるんですけど、任期だからと辞めていく先生がいて、そうかと思えば長く続けてらっしゃる方もいて、この差は何だろうと思っていました。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

あくまで会計年度任用職員の制度の中で運用しており、基本契約は1年です。学校長の評価に基づき、長い方だと3年間続けることができ、3年後は新たに応募していただく形になっています。それぞれの御事情によりますので、辞める方、再度応募して長く続ける方がいらっしゃいます。

江里委員

支援員さんの研修はあるんでしょうか。支援学級の担任の先生には研修があつて、困難を抱える子達の扱いを学ぶ機会があると思いますが、支援員さんにそういったものはあるのでしょうか。それというのも、支援員さんが支援学級の子どもに対してふさわしくない声掛けをしているということをよく聞きます。こういったことを改善する機会はないものかと思います。

小山副参事兼指導主事

年2回、研修の機会を設けていて、今年は12月に2回目を行います。いただいた内容は、研修に盛り込んでいきたいと思います。

江里委員

困難を抱えている子達なので、「なんでこんなことも出来ないの」という言葉やため息をつかれると、それだけですごくプレッシャーを感じてしまいます。そのような事が原因で不登校になっている子がいるので、先生の対応は大事なことだと思います。支援員さんといっても子どもから見れば先生なので、やはり何かあつた時に頼れる存在、自分に寄り添ってくれる人であつてほしいと思います。その辺りをよろしくお願いします。

先ほど話のあつた就学奨励費は私も気になっていました。親の年収によって、全員が必ずしももらえるものではないとは知っていたのですが、それにしてはもらっている方の人数が少ないのかなと思いました。私は小学校に入ってから、学校から当たり前のように申請書を渡されていたので、申請してもらふものではあるんですけども、半強制的に支援学級に在籍していたら申請しているものだと思っていました。もしかしたら、面倒くさくて申請してない方もいらっしゃるのかもしれない。生活保護と同じに考えて「うちはちゃんと年収があるから、こういうのは申請してももらえないんだ」と言う人も確かにいたので、もしかしたら、その辺の周知がなされていないのかなと思いました。就学奨励費は、他の手当に比べて年収の基準が割ともらいやすいところにあつて、すごく助かる制度なので、もし面倒くさいとかよく分からないから申請してないという保護者さんがいるのであれば、周知をしっかりしていただくと助かるのではないかなと思いました。

山下学校教育課長補佐兼教育総務係長

就学援助費の制度については、入学時や転入時等、その時々でお話をしていますし、学校でもお知らせをしています。就学奨励費についてはどうだったか確認し、周知していきたいと思います。

及川教育長

一概に周知が不足しているというだけでなく、御家庭の事情もあつて申請しない方もいるのではないかと思います。

江里委員

就学奨励費の制度については普通にお便りを配られて知りました。結構、字がびっしり書かれていて、それを読み込んで申請しようと思って私も申請したのですが、もしかしたら、そこで諦めている方もいるのかもしれない。割と今時の申請書類にしたら書く項目が多いんですね。例えば、家族構成には上の子の学校名を書くことになっていて、子どもが多い御家庭はうんざりしてくるように思います。

山田委員

先生方でも知らない方がいました。在籍してれば充分なのに、療育手帳を持っていないからダメなんじゃないのと言っていた先生もいたので、何らかの機会にお話ししていただくと良いように思います。

及川教育長

これからも機会を捉えて周知していくことを引き続きお願いしたいと思います。

山田委員

中学校の教師用教科書は来年度に新しくするのですね。そうすると、今年度の10万円の予算は足りないのではないのでしょうか。1年しか使えないと思いますが。

氏川主査

学級増であったり、指導助手の分であったり、学校の実状に応じて必要な教科書・指導書を購入するものです。今年度の予算はありましたが、ほとんど購入はしていない状況です。

山田委員

教育指導専門監の先生方には、授業研究や指導等いろいろとやっていただいております。運用の仕方について気になっていたのですが、ずっと教育委員会事務局にいらっしゃるのですか。

及川教育長

学校に出向いて指導していただいております。

山田委員

ありがたいと思います。そこが気になっておりまして、子どもの実態や先生方を見ていただいた上、授業研究をしていただきたいと思っていました。それから、担当校制にしたら良いのではないのでしょうか。全校を廻るのではなく2校くらいにすると、子どもも覚えるし、先生の名前を覚えやすい。そうすると、先生方の悩みも子どもの問題も何でも見えてくるんですね。全部を廻っちゃうとなかなか見えないので、担当校を決めていただくのが良いと思います。

及川教育長

いろんな考え方でいろんな目で見ること大事だと思います。

山田委員

例えば、私が中学校行った時にびっくりしたのが言葉遣いです。やはり、中学校と小学校の先生は違うので、学校によると思うんですけども、命令口調で子どもに対して人権を無視する感じの言葉遣いをしているのを聞きました。岩沼ではきっと無いと思いますが、中学校だと校長先生が上の階まで来なくて、その結果、知らなかったということがあります。できるのであれば、担当の専門監の方に来ていただいて、校長先生に情報を伝え、子どもにはそういう言葉遣いはダメだよとか話ができると良いと思います。岩沼では中学校で呼び捨てにしているのでしょうか。

一丸参事兼学校教育課長

呼び捨てはしていないと思います。

山田委員

岩沼は本当に良いですね。専門監の方にできるだけ子どもや学校を知っていただいて指導した方が良いと思うので、担当校など考えていただけたらと思います。

一丸参事兼学校教育課長

指導主事の学校訪問と同じように、訪問して授業を見て、先生方に指導や助言をしたり、気がつ

いたことを情報提供することなど行っていたいております。

山田委員

悩み事相談や情報提供など、いろいろな面で力がある方々ですので、授業改善だけでなく活躍していただければと思います。岩沼は、指導助手も教育指導専門監も羨ましいくらいの配置をいただいているので有効活用していただければと思います。

及川教育長

ありがとうございます。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

お手元には予算書の明細を配らせていただいておりますが、今は教育委員会から市長部局に対して意見を伝えるための内容であって、意思形成の過程の資料です。入札に影響しかねない金額も示されていますので委員さん方止まりの資料としてくださいますようお願いいたします。

及川教育長

だいぶ時間も過ぎてまいりましたが、議事の部分について、令和7年度岩沼市教育費予算（案）につきまして、御承認いただいたということによろしいでしょうか。

各委員

（了承）

及川教育長

ありがとうございました。今後、調整が続くのかかもしれませんが、ぜひとも今あった御意見を活かしていただいて、来年度のより良い予算を作っていただければと思います。

5番目、その他として、皆さんで共有しておいた方が良いこと等がございましたらお願いします。

山田委員

学力向上のことで提案させていただきたいと思います。学力向上については、岩沼市でも1丁目1番地なんですね。課方針書でも強化する事業としてしています。実際行うこととして、ここに書いていない内容もあると思いますが、学び塾の拡大として回数を増やすことが書いてありました。では、今の学力の実態に対してこれだけで何とかなるかということ、いろいろと策は考えていると思うんですけども、やはり1丁目1番地なので、他はいっぱいこうありますけど、優劣があると思うんです。

今はちょうど受験の時期です。これから大変な時期に向かう訳ですけれども、相手は南じゃなくて北ですよ。仙台です。4月の全国学力・学習状況調査の結果は、宮城県が最低レベルとのことでした。岩沼市は県平均より高いと思いますが、県の小学校の算数は正答率が57%でした。教科の中で何か策を練らないといけないと思います。学力向上すれば子どもも喜ぶし、親も喜ぶ、学校の先生方も喜ぶんですね。皆が喜ぶので、その策を練って何かやったら良いんじゃないかと思います。今から一緒に高校受験をすることになる、仙台市の中学3年生の国語は61%、数学は56%で、岩沼からも仙台の方に行く子が多いと思いますが、仙台の子ども達と一緒に受験で戦うことは大変だなと思います。特に中学校3年生の生徒さんの保護者は、ぜひ取り組んでもらいたいと思うのではないのでしょうか。どうすれば良いかとなりますが、参考として、正答率が高いと聞く、大河原小学校の学びのプランというのを教えていただくのはどうかと思います。関係者や保護者にも入っていただいて研修会をやったら良いんじゃないかなと思います。

もう一つは、国立教育研究所から実際に学力・学習状況調査の問題を作成している方を呼んで、どういう調査結果だったのか、どういう活用した方がいいのかとお聞きするのが良いと思います。

今まで、私は名取と柴田で聞きましたけれども、お金もそれほどかかりませんし、そういったことを教えていただければことは有効だと思います。

それから、教科書採択が決まった後で結構ですが、教科書の会社から説明を聞いてはどうでしょうか。私が名取市教育委員会にいたとき、全先生方に向けて教科書会社からの説明がありました。先生方は毎日教科書を使っていますが、その使い方は昔ながらの使い方でした。特に、小学校算数は教科書会社の方から教えていただくと使い方がガラッと変わると思います。私が板書を見たならば、この方は教科書を使えていないと分かります。それから、教科書に描かれているキャラクターについても、男の子がピンクや赤を着ているなど、ジェンダー平等についても考えられています。左手で挙手し、先生も左手で教えています。いろんな事が含まれていることを先生方は分からないんですね。ぜひ機会があれば、教科書の使い方について説明を受ける機会を設けていただければと思います。

学力向上の取組や成果を発表する場があった方が良くと思います。仙台や大河原ではやっていると思いますが、4月と12月に標準学力テストをやって伸び具合を見ることで、成果が分かりますので、それを元に、取組や成果を何らかの形で発表する場があると良いと思います。教育委員さんや保護者、研究主任等に入っていていただいて発表することで、学力向上の取組をオープンにしていけることがこれからは必要じゃないかなと思います。

それから、私が山元町にいた時、中学校3年生は中総体が終わると放課後に自主学習をするのですが、先生は見てあげる余裕がないので、代わりに塾の先生が3人ぐらい来るんですよ。その先生方に分からない所を教えてもらうということが3月まで続きます。お金が掛かることなので難しいことだとは思いますが、外部からも入ってやっているところもあります。この辺は塾に通っていればそれで良いのかもしれませんが。

大河原小学校では学習塾に通う子が少なく、保護者と学校と一緒にやっていることで、仙台どころではなく全国でも上位になっています。一時期、秋田の取組を全国から視察に来るということがありました。身近にお手本となる大河原小学校があるので見ていただければと思います。以前、学力向上をした学校だということで、私も学校経営と実際の状況について、大河原小学校と一緒に発表したことがあります。その場には教育委員会の方と保護者が入っていました。ぜひ、保護者の方も入れて、そのような場を設けていただけたらと思いますし、学力向上のことを本気でやるんだということを示していただくと良いと思います。

及川教育長

ありがとうございました。いただいた御意見は、お金のかかるものもあるでしょうし、保護者に負担を求めなければならないこともあります。出来るものは岩沼市の予算に反映させたり、授業の中に反映させたりしていくことができればと思っております。貴重な御意見を頂戴しましたので、学校教育課のみならず教育委員会全体で共有していきたいと思っております。

その他、事務局から何かありましたらお願いします。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

総合教育会議の日程についてです。12月19日木曜日の午後3時から開催することとし、終了後に12月の教育委員会定例会を開催することで御予定ください。

1月の定例会ですが、1月16日木曜日、午後1時30分から開催することで考えております。

1月21日火曜日に令和6年度宮城県市町村教育委員・教育長研修会の案内が届いております。

また、案内はまだ届いていないのですが、例年、午前中に新任教育委員研修会が行われておりますので御予定いただければと思います。案内が来ましたら改めて御連絡させていただきます。

それから、1月7日火曜日の午後4時から、参集殿で賀詞交歓会、1月12日日曜日に20歳を祝う会が予定されています。近くなりましたら、案内があると思われますが、こちらも御予定くださいますようお願いいたします。

及川教育長

本日の内容については以上でございます。令和6年第11回岩沼市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午後5時00分閉会)

この会議録の作成者は、次のとおりである。

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和6年12月19日

会議録署名委員

及川 浩市

会議録署名委員

木村 紀子

